

副 專 攻

# 副専攻について

(2014年度入学者から適用)

## ●副専攻とは

みなさんは、自らの所属する学科の科目を主専攻として学んでいます。そのほかに、特定のテーマに沿って体系的にまとめられた科目を副専攻として学ぶことができます。

本学のほとんどの学部・学科では、他学部や他学科で開講されている科目の履修を認め、単位を修得した場合には、その一部（又は全部）を卒業要件単位として算入できる仕組みになっています。副専攻制度はこの仕組みを利用し、在学中に広い視野と多面的な能力を培う機会を提供するものです。

副専攻には、ある学部（学科）がすべての科目を提供する副専攻（単独型）と、複数の学科が科目を提供し学科横断的に実施される副専攻（横断型）の二種類があります。横断型の場合、履修する科目の中に自学科の開講科目が含まれることもあります。

副専攻において修得した他学部・他学科科目の単位は、自らの所属する学科の教育課程表に定める単位の取扱いに従います。

## ●副専攻を履修するには

つぎに副専攻の登録方法と履修の方法について説明します。各副専攻の開講科目や定員、履修条件などについては後述の『副専攻一覧』を参照してください。

- (1) 副専攻は原則として全学の学生に向けて開設されていますが、特定の学部・学科の学生を対象とする副専攻もあります。なお、副専攻の登録は一人につき一副専攻に限ります。複数の副専攻を登録することはできません。
- (2) 副専攻の本登録は2年次前学期に行います。
- (3) 副専攻履修希望者は、「学修スタートガイド」記載の副専攻に関するスケジュールに従い、1年次4月の副専攻ガイダンスに出席してください。なお、副専攻科目の中には1年次から履修できる科目もありますので、副専攻の登録を希望する場合は1年次から計画的に履修しておくことが望ましいです。
- (4) 定員や登録のための前提条件（前年度に一定の単位数を修得していること等の条件）を設定している副専攻については、事前選考を行い、登録者として決定します。
- (5) 副専攻科目の履修登録は、各学部・学科が定める履修上限単位数の範囲内で行います。自学科の科目とのバランスをよく考えて履修登録をしてください。
- (6) 副専攻の各科目では、他学部・他学科の学生に対して履修人数を制限する場合があります。履修登録の際は、担当者の許可を得てください。
- (7) 各副専攻の定める修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻修了証が授与されます。また、修了者の「卒業・学位証明書」及び「学業成績証明書」には、修了した副専攻名が記載されます。
- (8) 基準の単位を満たした場合は、申請により4年次4月以降に副専攻修了見込証明書を取得することができます。
- (9) 修得した副専攻科目の単位は副専攻の修了あるいは未了にかかわらず、所属する学科の教育課程表に定める単位の取扱いに従います。

各学部・学科における他学科履修の単位の取扱いは次のとおりです。

学 部 ・ 学 科		副専攻を構成する他学部・他学科科目を 修得した場合の認定群	認定群の 卒業要件 単位数
法学部	法律学科	自由選択科目	14
	自治行政学科	自由選択科目	14
経済学部	経済学科	自由選択科目	10
	現代ビジネス学科	自由選択科目	10
経営学部	国際経営学科	副専攻・他学部科目	20
外国語学部	英語英文学科	関連科目	20
	スペイン語学科	関連科目	20
	中国語学科	関連科目	24
	国際文化交流学科	関連科目	20

人間科学部	人間科学科 (2014年度入学者)	関連科目	20
	人間科学科 (2015年度以降入学者)	関連科目	16
理学部	数理・物理学科	関連科目	22
	情報科学科	関連科目	21
	化学科	関連科目	20
	生物科学科	関連科目	20
	総合理学プログラム	関連科目	27
工学部	機械工学科	工学部他学科の科目のみ関連科目	6
	電気電子情報工学科	選択科目群（専門科目）	8
	物質生命化学科	関連科目 (卒業要件単位としては認定されない)	0
	情報システム創成学科	関連科目	4
	経営工学科	関連科目	1
	建築学科	関連科目	8
	総合工学プログラム	関連科目	8

### ●副専攻一覧

副専攻名称	開設の中心となる学部・学科等	募集対象学部・学科	定員	*履修開始学年
法律学	法学部	法学部を除く全学部	20	1年次
国際協力	法学部・経済学部・外国語学部・人間科学部	全学部	20	1年次
英語コミュニケーション特修	外国語学部国際文化交流学科	外国語学部 <sup>※</sup> 英語学科		1年次
地方自治	法学部	法学部を除く全学部	20	1年次
日本語・日本研究	共通教養教育推進委員会・法学部・経済学部・外国語学部国際文化交流学科・人間科学部	外国語学部国際文化交流学科を除く全学部全学科	20	1年次
ビジネスマネジメント	経営学部	経営学部を除く全学部		1年次
国際教養	経営学部	経営学部を除く全学部		1年次
自然・環境	理学部	理学部を除く全学部		1年次

\*「履修開始学年」は副専攻登録開始年ではなく、副専攻の一部の科目が1年次配当科目であることを示しています。  
2年次で副専攻の登録を予定している場合は、1年次のうちから十分に注意して計画的に履修してください。

### ●副専攻修了見込証明書発行基準

副専攻名称	修了要件 単位数	副専攻修了見込証明書 発行基準単位数	
		4月1日現在	10月1日現在
法律学	20	14以上	16以上
国際協力	22 (※1)	16以上	18以上
英語コミュニケーション特修	22	16以上	18以上
地方自治	20	14以上	16以上
日本語・日本研究	22	16以上	18以上
ビジネスマネジメント	20	14以上	16以上
国際教養	20	14以上	16以上
自然・環境	20	14以上	16以上

(※1) 第1群から14単位以上、第2群から8単位以上

**副専攻名：ビジネスマネジメント副専攻 <湘南ひらつかキャンパスで開設>**

## 意義と特色

高度に発達した国際ビジネス社会の動向を正しく理解し、企業その他の経済主体や事業組織のマネジメントの在り方について、理論的・制度的に学修することが多くの現代人にとって強く求められている。

本副専攻は、自然科学分野を主専攻とする学生が、企業等のマネジメントに関する専門的知識や技能を修得し、広く産業界で活躍し得る能力を養成することを目的とする。

募集対象学部・学科 経営学部を除く全学部

募集定員 定員は設けない

修了要件単位数 20 単位以上

## 設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数	備考
会計の基礎	経営学部	1	2	
経済の基礎	共通教養科目	1	2	
経営学総論	経営学部	1	2	
知的財産権と情報倫理	経営学部	1	2	
ミクロ経済学	経営学部	1	2	
Management I	経営学部	1	2	
会計学原理	経営学部	2	2	
経営メディア論	経営学部	2	2	
経営環境概論	経営学部	2	2	
企業と広告	経営学部	2	2	
e ビジネス論	経営学部	2	2	
Management II	経営学部	2	2	
マーケティング論	経営学部	2	2	
情報と職業	経営学部	2	2	
生産マネジメント	経営学部	2	2	
サプライチェーン・マネジメント	経営学部	2	2	
企業の社会的責任論	経営学部	2	2	
ベンチャー論	経営学部	2	2	

## 副専攻名：国際教養副専攻 <湘南ひらつかキャンパスで開設>

### 意義と特色

交通手段の発達と情報技術の革新，他方で政治・経済のボーダレス化と生活・文化のグローバル化が進展する現代社会にあつては，国際間の人的・文化的交流がますます活発に展開されるようになっている。国際社会の平和・安定と人類の幸福・繁栄は，国際交流の発展と異文化理解の進展に依拠しているといえる。

本副専攻は，自然科学分野を主専攻とする学生が，国際交流への理解とそのための外国語力，国際地域事情等を修得し，広く世界で活躍し得る能力を養成することを目的とする。

募集対象学部・学科 経営学部を除く全学部

募集定員 定員は設けない

修了要件単位数 20 単位以上

### 設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数	備考
必修以外の外国語科目	共通教養科目	1・2	---	※1
国際社会論	経営学部	1	2	
国際コミュニケーション	経営学部	2	2	※3
国際関係論	経営学部	2	2	
スタディー・アブロードⅠ	経営学部	2	2	※2 ※3
スタディー・アブロードⅡ	経営学部	2	2	※2 ※3
国際機構論	経営学部	2	2	
世界史	経営学部	2	2	
コミュニケーション論	経営学部	2	2	
多次元文化社会論	経営学部	2	2	
国際地域論（北アメリカ）	経営学部	2	2	
国際地域論（東アジア）	経営学部	2	2	
国際地域論（ヨーロッパ）	経営学部	2	2	
国際地域論（オセアニア）	経営学部	2	2	
国際地域論（ロシア・中央アジア）	経営学部	2	2	
国際地域論（中東・アフリカ）	経営学部	2	2	
国際地域論（ラテンアメリカ）	経営学部	2	2	
国際地域論（東南アジア）	経営学部	2	2	
国際地域論（南アジア）	経営学部	2	2	

※1 湘南ひらつかキャンパスで開講している「共通教養科目」の外国語科目が対象。（ただし日本語を除く）

英語については、「特修英語（上級）Ⅰ～Ⅳ」と「特修英語（中級）Ⅰ～Ⅳ」のみ履修できる。

ただし、「特修英語（上級）Ⅰ～Ⅳ」の履修には「上級英語Ⅰ～Ⅳ」，「特修英語（中級）Ⅰ～Ⅳ」の履修には「中級英語Ⅰ～Ⅳ」の少なくとも2単位以上を含む「卒業要件の8単位」を充足している場合に限り履修できる。算入の上限なし。

※2 「スタディー・アブロードⅠ」「スタディー・アブロードⅡ」は，スタディー・アブロード（SA）プログラムに参加する学生を対象としている。これらの科目については平塚教務課に問い合わせること。

※3 「国際コミュニケーション」「スタディー・アブロードⅠ」「スタディー・アブロードⅡ」は，2016年度以降入学者から1年次配当。

**副専攻名：自然・環境副専攻 <湘南ひらつかキャンパスで開設>**

## 意義と特色

現代社会は、科学技術の発展と深く関わっており、科学技術に対する適切な理解無しには成立し得ない状況にある。科学技術は、産業経済を発展させると同時に、環境破壊や生命倫理の問題など各種社会問題をも引き起こしている。このような問題を解決するためには自然科学の基礎知識が不可欠である。

本副専攻は、社会・人文科学分野を主専攻とする学生が、自然科学の基礎並びに意義を学修し理解することにより、社会のあらゆる分野で活躍し得る能力を養成することを目的とする。

募集対象学部・学科 理学部を除く全学部

募集定員 定員は設けない

修了要件単位数 20 単位以上

## 設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数	備考
基礎数学	共通教養科目	1	2	
リベラルアーツ数学	共通教養科目	1	2	
基礎物理学Ⅰ	共通教養科目	1	2	
基礎物理学Ⅱ	共通教養科目	1	2	
基礎化学	共通教養科目	1	2	
物質化学	共通教養科目	1	2	
基礎生物学Ⅰ	共通教養科目	1	2	
基礎生物学Ⅱ	共通教養科目	1	2	
数理・情報科学の世界	共通教養科目	1	2	
自然科学の世界	共通教養科目	1	2	
自然の体験学習	共通教養科目	1	2	
地域の自然史	共通教養科目	1	2	
自然の歴史	理学部 総合理学プログラム	1	2	
天文学概論	理学部 数理・物理学科, 総合理学プログラム	1	2	
化学概論Ⅰ	理学部 情報科学科, 生物科学科, 総合理学プログラム	1	2	
化学概論Ⅱ	理学部 生物科学科, 総合理学プログラム	1	2	
生態学Ⅰ	理学部 情報科学科, 生物科学科, 総合理学プログラム	1	2	
生物学概論Ⅰ	理学部 情報科学科, 化学科, 生物科学科, 総合理学プログラム	1	2	
生物学概論Ⅱ	理学部 化学科, 生物科学科, 総合理学プログラム	1	2	
地学概論Ⅰ	理学部 数理・物理学科, 化学科, 生物科学科, 総合理学プログラム	2	2	
地学概論Ⅱ	理学部 数理・物理学科, 化学科, 生物科学科, 総合理学プログラム	2	2	
循環型社会論	共通教養科目	2	2	
文化財基礎化学	理学部 総合理学プログラム	2	2	
応用環境化学	理学部 化学科, 総合理学プログラム	3	2	
環境生物学	理学部 生物科学科	3	2	
生命倫理	理学部 生物科学科, 総合理学プログラム	3	2	

なお、法律学副専攻、国際協力副専攻、英語コミュニケーション特修副専攻、地方自治副専攻、日本語・日本研究副専攻は横浜キャンパスで開設する副専攻です。詳細は平塚教務課で確認してください。

# 副専攻について

(2010から2013年度入学者に適用)

## ●副専攻とは

みなさんは、自らの所属する学科の科目を主専攻として学んでいます。そのほかに、特定のテーマに沿って体系的にまとめられた科目を副専攻として学ぶことができます。

本学のほとんどの学部・学科では、他学部や他学科で開講されている科目の履修を認め、単位を修得した場合には、その一部（又は全部）を卒業要件単位として算入できる仕組みになっています。副専攻制度はこの仕組みを利用し、在学中に広い視野と多面的な能力を培う機会を提供するものです。

副専攻には、ある学部（学科）がすべての科目を提供する副専攻（単独型）と、複数の学科が科目を提供し学科横断的に実施される副専攻（横断型）の二種類があります。横断型の場合、履修する科目の中に自学科の開講科目が含まれることもあります。

副専攻において修得した他学部・他学科科目の単位は、自らの所属する学科の教育課程表に定める単位の取扱いに従います。

## ●副専攻を履修するには

つぎに副専攻の登録方法と履修の方法について説明します。各副専攻の開講科目や定員、履修条件などについては後述の『副専攻一覧』を参照してください。

- (1) 副専攻は原則として全学の学生に向けて開設されていますが、特定の学部・学科の学生を対象とする副専攻もあります。なお、副専攻の登録は一人につき一副専攻に限ります。複数の副専攻を登録することはできません。
- (2) 副専攻の本登録は2年次前期に行います。
- (3) 副専攻履修希望者は、「学修スタートガイド」記載の副専攻に関するスケジュールに従い、1年次4月の副専攻ガイダンスに出席してください。なお、副専攻科目の中には1年次から履修できる科目もありますので、副専攻の登録を希望する場合は1年次から計画的に履修しておくことが望ましいです。
- (4) 定員や登録のための前提条件（前年度に一定の単位数を修得していること等の条件）を設定している副専攻については、事前選考を行い、登録者として決定します。
- (5) 副専攻科目の履修登録は、各学部・学科が定める履修上限単位数の範囲内で行います。自学科の科目とのバランスをよく考えて履修登録をしてください。
- (6) 副専攻の各科目では、他学部・他学科の学生に対して履修人数を制限する場合があります。履修登録の際は、担当者の許可を得てください。
- (7) 各副専攻の定める修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻修了証が授与されます。また、修了者の「卒業・学位証明書」及び「学業成績証明書」には、修了した副専攻名が記載されます。
- (8) 基準の単位を満たした場合は、申請により4年次4月以降に副専攻修了見込証明書を取得することができます。
- (9) 修得した副専攻科目の単位は副専攻の修了あるいは未了にかかわらず、所属する学科の教育課程表に定める単位の取扱いに従います。

各学部・学科における他学科履修の単位の取扱いは次のとおりです。

学 部 ・ 学 科		副専攻を構成する他学部・他学科科目を 修得した場合の認定群	認定群の 卒業要件 単位数
法学部	法律学科	自由選択科目	18
	自治行政学科	自由選択科目	18
経済学部	経済学科	自由選択科目	12
	現代ビジネス学科	自由選択科目	10
経営学部	国際経営学科	選択科目	20
外国語学部	英語英文学科	関連科目	20
	スペイン語学科	関連科目	28
	中国語学科（スタンダードコース） 2010年度入学者	関連科目	30

外国語学部	中国語学科 [インテグコース] (2010年度入学者)	関連科目	22
	中国語学科 (2011年度以降入学者)	関連科目	24
	国際文化交流学科	関連科目	20
人間科学部	人間科学科	関連科目	20
理学部	数理・物理学科	関連科目	20
	情報科学科	関連科目	20
	化学科	関連科目	20
	生物科学科	関連科目	20
	総合理学プログラム (2011年度以前入学者)	関連科目	30
	総合理学プログラム (2012～2013年度入学者)	関連科目	26
工学部	機械工学科	工学部他学科の科目のみ関連科目	6
	電子情報フロンティア学科	選択科目群（専攻科目）	8
	電気電子情報工学科 (2012～2013年度入学者)	選択科目群（専攻科目）	8
	物質生命化学科	関連科目 (卒業要件単位としては認定されない)	0
	情報システム創成学科 [情報システム創成コース] (2011年度以前入学者)	関連科目 (卒業要件単位としては認定されない)	0
	情報システム創成学科 (2012～2013年度入学者)	関連科目	4
	情報システム創成学科 [経営工学コース] (2011年度以前入学者)	関連科目	4
	経営工学科 (2012～2013年度入学者)	関連科目	6
	建築学科	関連科目	8
	総合工学プログラム	関連科目	8

### ●副専攻一覧

副専攻名称	開設の中心となる学部・学科等	募集対象学部・学科	定員	*履修開始学年
法律学	法学部	法学部を除く全学部	20	1年次
国際協力	法学部・経済学部・外国語学部 ・人間科学部	全学部	20	1年次
英語コミュニケーション特修	外国語学部国際文化交流学科	外国語学部 <sup>※</sup> 英語学科		1年次
地方自治	法学部	法学部を除く全学部	20	1年次
日本語・日本研究	共通教養教育推進委員会・法学部 ・経済学部・外国語学部国際 文化交流学科・人間科学部	外国語学部国際文化交流 学科を除く全学部全学科	20	1年次
マネジメント	経営学部	経営学部を除く全学部		1年次
国際交流	経営学部	経営学部を除く全学部		1年次
自然・環境	理学部	理学部を除く全学部		1年次

\*「履修開始学年」は副専攻登録開始年ではなく、副専攻の一部の科目が1年次配当科目であることを示しています。  
2年次で副専攻の登録を予定している場合は、1年次のうちから十分に注意して計画的に履修してください。



●副専攻修了見込証明書発行基準

副専攻名称	修了要件 単位数	副専攻修了見込証明書 発行基準単位数	
		4月1日現在	10月1日現在
法律学	20	14以上	16以上
国際協力	22 (※1)	16以上	18以上
英語コミュニケーション特修	22	16以上	18以上
地方自治	20	14以上	16以上
日本語・日本研究	22	16以上	18以上
マネジメント	20	14以上	16以上
国際交流	20	14以上	16以上
自然・環境	20	14以上	16以上

(※1) 第1群から14単位以上, 第2群から8単位以上

**副専攻名：マネジメント副専攻 <湘南ひらつかキャンパスで開設>**

## 意義と特色

高度に発達した国際ビジネス社会の動向を正しく理解し、企業その他の経済主体や事業組織のマネジメントのあり方について、理論的・制度的に学修することが多くの現代人にとって強く求められている。

本副専攻は、自然科学分野を主専攻とする学生が、企業等のマネジメントに関する専門的知識や技能を修得し、広く産業界で活躍し得る能力を養成することを目的とする。

募集対象学部・学科 経営学部を除く全学部

募集定員 定員は設けない

修了要件単位数 20 単位以上

## 設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数	備考
経済の基礎	経営学部・理学部	1	2	
会計の基礎	経営学部	1	2	
ボランティア論	経営学部・理学部	1	2	
経営の基礎	経営学部	1	2	
キャリア形成論	経営学部	1	2	
経営学総論	経営学部	1	2	
知的財産権と情報倫理	経営学部	1	2	
政治学概説	経営学部・理学部	1	2	
地球環境と企業	経営学部・理学部	2	2	
会計学原理	経営学部	2	2	
経営メディア論	経営学部・理学部	2	2	
経営環境概論	経営学部	2	2	
企業と広告	経営学部	2	2	
e ビジネス論	経営学部	3	2	
循環型社会論	経営学部・理学部 総合理学プログラム	3	2	
知的所有権法	理学部 化学科・生物科学科	4	2	

**副専攻名：国際交流副専攻 <湘南ひらつかキャンパスで開設>**

## 意義と特色

交通手段の発達と情報技術の革新，他方で政治・経済のボーダレス化と生活・文化のグローバル化が進展する現代社会にあつては，国際間の人的・文化的交流がますます活発に展開されるようになっている。国際社会の平和・安定と人類の幸福・繁栄は，国際交流の発展と異文化理解の進展に依拠しているといえる。

本副専攻は，自然科学分野を主専攻とする学生が，国際交流への理解とそのための外国語力等を修得し，広く世界で活躍し得る能力を養成することを目的とする。

募集対象学部・学科 経営学部を除く全学部

募集定員 定員は設けない

修了要件単位数 20 単位以上

## 設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数	備考
中級英語Ⅰ	経営学部・理学部	1	2	
中級英語Ⅱ	経営学部・理学部	1	2	
中級英語Ⅲ	経営学部・理学部	1・2	2	
中級英語Ⅳ	経営学部・理学部	1・2	2	
上級英語Ⅰ	経営学部・理学部	1	2	
上級英語Ⅱ	経営学部・理学部	1	2	
上級英語Ⅲ	経営学部・理学部	1・2	2	
上級英語Ⅳ	経営学部・理学部	1・2	2	
英語以外の外国語	経営学部・理学部	1・2	---	※1
国際交流論	経営学部	1	2	
日本文化論	経営学部・理学部	1	2	
科学技術英語Ⅰ	理学部	2	2	
科学技術英語Ⅱ	理学部	2	2	
国際コミュニケーション	経営学部	2	2	
国際関係論	経営学部	2	2	
スタディー・アブロードⅠ	経営学部	2	2	※2
スタディー・アブロードⅡ	経営学部	2	2	※2
インターンシップ準備演習 <small>(海外クラス)</small>	理学部	3	1	
海外で単位を取得した外国語	認定科目	---	---	算入の上限なし。

※1 湘南ひらつかキャンパスで開講している，英語と日本語を除く，全ての外国語科目が対象。算入の上限なし。

※2 「スタディー・アブロードⅠ・Ⅱ」履修に際しては，海外実習開始までに実習先で必要な外国語2科目4単位を修得しておくこと。

**副専攻名：自然・環境副専攻 <湘南ひらつかキャンパスで開設>**

## 意義と特色

現代社会は、科学技術の発展と深く関わっており、科学技術に対する適切な理解無しには成立し得ない状況にある。科学技術は、産業経済を発展させると同時に、環境破壊や生命倫理の問題など各種社会問題をも引き起こしている。このような問題を解決するためには自然科学の基礎知識が不可欠である。

本副専攻は、社会・人文科学分野を主専攻とする学生が、自然科学の基礎並びに意義を学修し理解することにより、社会のあらゆる分野で活躍し得る能力を養成することを目的とする。

募集対象学部・学科 理学部を除く全学部

募集定員 定員は設けない

修了要件単位数 20 単位以上

## 設定科目一覧

科目名	科目提供学部・学科	配当年次	単位数	備考
生物科学の世界	経営学部, 理学部	1	2	2011 年度以前の 入学者対象
一般化学 I	経営学部, 理学部	1	2	2011 年度以前の 入学者対象
数学入門	理学部	1	1	
物理学入門	理学部	1	1	
化学入門	理学部	1	1	
生物学入門	理学部	1	1	
自然の歴史	理学部 総合理学プログラム	1	2	
山の体験学習	理学部	1	2	
地域の自然史	理学部 生物科学科, 総合理学プログラム	1	2	
物質科学の世界	経営学部, 理学部	1	2	
天文学概論	理学部 数理・物理学科, 情報科学科, 総合理学プログラム	1	2	
一般化学 II	経営学部, 理学部	1	2	2011 年度以前の 入学者対象
21 世紀基盤科学	理学部	1	2	
生態学	理学部	1・2	2	
地学概論 I	理学部	2	2	
地学概論 II	理学部	2	2	
生物学概論 I	理学部	2	2	
生物学概論 II	理学部	2	2	
文化財基礎化学	理学部 総合理学プログラム	2	2	
生命倫理	理学部 総合理学プログラム	3	2	
循環型社会論	経営学部, 理学部 総合理学プログラム	3	2	

なお、法律学副専攻、国際協力副専攻、英語コミュニケーション特修副専攻、地方自治副専攻、日本語・日本研究副専攻は横浜キャンパスで開設する副専攻です。詳細は平塚教務課で確認してください。